

医学系研究に関するお知らせ及び御協力のお願い

当院では、以下の医学系研究に協力しております。この研究のために、当院の検案・解剖業務の過程で得られた試料・情報を実施機関へ提供することがあります。提供にあたっては、当院の倫理委員会の承認を得ており、関係省庁が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を守り、個人情報保護に配慮して実施いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へ御照会ください。

【研究課題名】

生前未診断の心疾患に関する剖検例に基づく包括的病理学的検討

【研究の目的、方法、提供する試料・情報】

心臓の病気は、日本人の死亡原因の中で上位を占めています。中には、胸の痛みや息苦しさといった症状がほとんどないまま、突然亡くなってしまうケースがあります。こうした「無症状のまま進行する心臓の病気」は、生前は気づかれず、亡くなられてから行われる解剖(剖検)で初めてわかることがあります。

本研究では、解剖によって見つかった心臓の病気のうち、生前に診断されていなかったもの(無症候性・未診断例)を対象とし、どのような病気が、どんな経過で進行していたのかを調べます。これにより、今後の予防や早期発見のヒントを得ることを目的としています。

本研究では、大分大学医学部法医学講座、東京都監察医務院で実施された剖検の記録と、心臓の組織標本(すでに診断・保存されているもの)を用います。対象となるのは、心筋炎、虚血性心疾患、アルコール性心筋症などの心疾患で、生前に症状や診断がなかったと判断されるケースです。

使用する情報はすべて特定の個人を識別できないよう加工が施されており、外部に個人情報が漏れることはありません。研究は診療や生活に影響を与えることなく、すでにある記録や標本を用いた後ろ向き研究(過去の記録に基づいた研究)です。

研究に用いる試料・情報の具体的な項目は下記のとおりです。

- ・解剖検査で採取・保存された心臓標本(含ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック)
- ・解剖時に警察から提供された情報；被解剖者の年齢、性別、死亡前後の状況・経緯、症状の有無
- ・既往歴(病歴・併存疾患)、生活状況、通院状況、健康状況(病名・現病歴・投薬内容)、飲酒や喫煙状況、救急医療の実施状況
- ・解剖検査後に作成された書類；鑑定報告書、解剖・組織の所見表、病理検体番号

【研究の対象者】

- ・大分大学医学部講座で 2020 年 1 月から 2029 年 3 月に解剖検査となった方
 - ・東京都監察医務院で 1948 年 3 月から 2029 年 3 月までに解剖検査となった方
- このうち、虚血性心疾患、弁膜症、心筋炎、冠動脈奇形および冠動脈瘤、大動脈瘤、動脈粥状硬化症、心筋症に罹患していた方

【取得及び提供の方法】

取得方法：死因診断を目的として検案、解剖の過程で得られ保存された試料・情報の中から必要な部分のみ抽出します。

提供方法：試料は提供者が持参し手渡しいたします。情報は個人情報保護に配慮したうえでファイルを

保存したUSBメモリーを持参し手渡しいたします。

必要に応じて、すでに行政解剖で検査された、心臓・血管の病理標本の追加検査を行います。

提供する試料・情報 :

- 解剖時に警察から提供された情報；被解剖者の年齢、性別、死亡前後の状況・経緯、既往歴(病歴・併存疾患)、生活状況、通院状況、健康状況(病名・現病歴・投薬内容)、飲酒や喫煙状況、救急医療の実施状況
- ・解剖検査後に作成された書類；剖検記録、死体検案書、解剖・組織の所見表、病理検体番号、剖検時に実施された諸検査の結果(NT-proBNP, HbA1c等)
- ・解剖検査で作成された病理標本(含ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック)

【提供を行う機関】

【提供者】東京都監察医務院 非常勤監察医 貝森 嶽 氏名(大分大学医学部法医学講座 助教)

【提供を受ける機関(研究実施機関)】

研究責任者 大分大学医学部法医学講座 助教 貝森 嶽

【研究実施期間】

開始：2025（令和7）年 10月 17日 終了：2030（令和12）年 3月 31日

【利用の停止】

本研究への御協力については、御遺族の意思を尊重いたします。試料・情報の提供に同意されない場合には、以下の【問い合わせ先】まで御連絡ください。

【問い合わせ先】

所属：大分大学医学部法医学講座

氏名：貝森 嶽

住所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1 大分大学 医学部 法医学講座

電話：097-586-5751